

ベトナム少数民族委員会等訪問団が来局しました



北海道開発局長訪問

平成 29 年 3 月 28 日に、ベトナム少数民族委員会のレ・ソン・ハイ副委員長を団長とする訪問団 20 名が来局しました。同委員会は、ベトナム政府における省庁レベルの行政機関の一つであり、国全体の少数民族に関する施策を所管します。今回来局いただいた副委員長は各省庁の副大臣に相当します。

同訪問団は、法政大学法学部 坂根徹教授による、アイヌ政策や北海道開発政策等に関する研修プログラムを目的として訪日し、当局では北海道総合開発政策に関する講義を実施し、局長に面会していただきました。

レ・ソン・ハイ副委員長からの挨拶では、「北海道は気候が厳しい土地であるが、インフラは先進的と実感している。ベトナムでは国土の 3 分の 2 が山岳地帯で未舗装の道路が多く、道路整備、治水などが進んでいる北海道の開発政策は参考になる。」といった感想が述べられました。



北海道総合開発政策についての講義風景